

商工会議所は、市など一定地区内の商工業の世論を代表し、商工業の振興に力を注いで、国民経済の健全な発展に寄与するための地域の総合経済団体です。各県には県内の商工会議所を会員とした商工会議所連合会有り、会員間の協調を図るとともにその意見を集約し、行政機関および県内経済団体などとも連携して、産業経済の改善・発展に寄与することを目的とした事業活動を行っています。

このシリーズでは、中部9県の商工会議所連合会を訪問し、各県の現況や課題、商工会議所連合会、および傘下の商工会議所の活動などについてのお話を伺います。

第2回となる今回は静岡県商工会議所連合会です。

(公財) 中部圏社会経済研究所  
総務企画部主任 折戸 厚子

## 第2回 一般社団法人静岡県商工会議所連合会

### 一般社団法人静岡県商工会議所連合会概要

住 所：〒420-0851

静岡市葵区黒金町20-8 静岡商工会議所会館内

代 表：会長 後藤康雄（静岡商工会議所会頭）

URL：<http://www.s-kenren.com>

創 立：1958年12月1日

一般社団法人移行：2012年4月1日

県内商工会議所数：15

地区内商工業者数：129,535（2012年3月末現在）

県内商工会議所会員数：54,608（2012年3月末現在）



一般社団法人静岡県商工会議所連合会 専務理事  
杉 雅俊 氏



## 1. 静岡県商工会議所連合会の役割

「商工会議所連合会があるってありがたい。」と思っ  
てもらえる事業をしていくことが、私たちの存在  
意義

—静岡県商工会議所連合会の主な役割、事業につ  
いてお聞かせください。

杉 静岡県内の15の商工会議所と県、国との間を  
つなぐのが私たちの基本的な仕事です。また、事  
業を通じて商工会議所間の連携を強め、機能を向  
上させることで、地域の産業経済の発展につなげ  
ていきます。

事業の大きなくくりとしては、以下ようになります。

- ・ 県・国への政策提言、行政要望
- ・ 商工業振興対策
- ・ 地域活性化への支援
- ・ 商工会議所の組織活動強化推進
- ・ 雇用促進、労働・教育・社会福祉支援
- ・ 観光振興支援
- ・ 防災・減災対策への支援
- ・ 実務技能振興、技術の伝承に何する事業

この中で、最近、話題にあがるものや静岡独自  
のものについてご紹介しますと、地域活性化に向  
けて、富士山静岡空港利用促進協議会の事務局を

受託しています。ここでは、空港の利用促進、需  
要の拡大（特に来静者の増加）と併せて、静岡に  
航空文化を植え付けるお手伝いできればと思っ  
ております。また、静岡県商店会連盟連合会、静  
岡県商店会振興組合連合会という2つの商業団体  
の事務局を受託しています。静岡県でも、ご多分  
にもれず、多くの商店街が時代の流れのなかで苦  
慮しているのですが、他地域商店街の良いところ  
を学び、時代の流れのなかで、今何をすべきな  
のかについて情報交換を行っています。

また、雇用促進では、例えば、企業と学生のミ  
スマッチ解消支援に取り組んでいます。就職難と  
いわれるなか、大企業、有名企業に希望を絞って  
就職できずにいる学生がいる一方で、中小企業は  
求人しても人材が集まらず困っている状況があり  
ます。こうしたミスマッチと言われる問題につい  
て、大学や経済団体と話合っています。会議の  
中では、一般的に中小企業は、自分の会社にこん  
な魅力があるというPRが下手、また、学生自身  
がせっかく行く気になっても、お母さんに「私の  
知らない会社に行くのはどうか。」と止められて  
しまう。そんなところに問題があるのではないかと  
言われていますが、学生たちに中小企業の良さ、  
すばらしさを知ってもらうための支援をしていま  
す。

また、教育委員会からの依頼で、教員採用試験  
の2次試験に、各商工会議所に協力をお願いして  
民間からの試験官を出していただいています。先  
生たちの目で採用すると成績が良い人に偏りがち  
なのですが、民間の試験官は、話し方や服装も重  
要な要素として判断することから、多様な人材を  
教員として採用する手助けとなっています。

また、今年から、キャリア教育支援として、希  
望する高校に企業経営者を派遣して、働くこと  
の意義や生きがいなどについての話をしていただ  
いています。NHKの「ようこそ先輩」のような感  
じだと思えます。

—各商工会議所を取りまとめるにあたって、苦勞  
や工夫をされている点をお聞かせください。

杉 商工会議所連合会は、商工会議所の上部組織ではありません。県内15商工会議所の横に並んで、皆さんに「商工会議所連合会があってありがたい。」と思ってもらえる事業をしていくことが、私たちの存在意義です。

しかし、上部団体でなくとも、外部機関からは、県の経済界の代表とみなされるので、日々幅広く、情報を取り入れ、極力多方面からの要望にお応えしています。

工夫という点では、静岡県商工会議所連合会独自の事業として、2003年に開始した商工会議所間の人事交流があります。

商工業振興対策には、経営指導員の資質向上が極めて重要です。県の東部地区、中部地区、西部地区、伊豆地区、それぞれの地区ごとの商工会議所間で、1年の期限で経営指導員の交流をしてきました。例えば、東部地区内では、沼津の経営指導員が三島へ、三島の経営指導員が沼津へとといった具合です。

一般的に、商工会議所には転勤がなく、入退所以外は同じメンバーで仕事をしていくのですが、人事交流をすることで、所内に新たな風が吹きます。また、新しい人が来れば、自分の町や業務について教えることが必要になります。そのためには、きちんとした知識があるので勉強するようになります。個人も組織も成長していきます。さらに、1年間共に仕事をすることで親しくなり、人脈が広がっていきます。

この人事交流は10年間続けており、商工会議所間の交流が一段落してきたので、最近では、信用金庫や学校の先生に来てもらったり、逆に行政に人を出したりといった広義の人事交流を行っている商工会議所もあります。

静岡県では、東部・中部・西部・伊豆の各地区内の連携がとてもいいのですが、人事交流の効果もあると思います。

## 2. 静岡県の特徴と産業

中小零細企業が再び躍動する扉を地域の力で開きたい

—製造品出荷額全国第2位で「ものづくり」が盛んな静岡県ですが、現況と課題についてお聞かせください。

杉 静岡県は、輸出型産業が牽引して伸びてきた県なので、国と同様、大変苦勞しています。象徴的なのが有効求人倍率で、静岡県は他見と比べ求人倍率が良かったのですが、リーマン・ショック以降、2009年2月に全国平均を下回り、それから37カ月経ってようやく全国平均を上回ったものの、その後も再び全国平均を下回る状況が続いています。原因は、自動車、電気機械、楽器などで急速な海外現地生産化が進み、製造業の空洞化が進行していることです。

今後、ますます生産の海外シフトが加速して、空洞化が進む恐れがあります。また、製造業の代表である輸送機器産業が、ハイブリッド化・EV化という大きな構造変化に見舞われています。大手企業は、部品を組み立てて製品をつくらせているので、中のエンジンがモーターに代わるだけかもしれませんが、そのエンジンをつくる中小企業にとっては、死活問題です。これまで、こうした中小企業は、大手企業の伸展に併せ、品質の良いものをつくれれば一緒に伸びていけました。ところが、超円高、アジア市場拡大の中、大手企業は海外移転に拍車をかけて、「部品は海外でつくるから結構ですよ。」「海外で部品をつくらせてくれるなら取引をしましょう。」という言葉を目にするようになりました。海外移転についていく企業や自ら海外での生産に乗り出して活路を見出す企業もありますが、成功する企業ばかりではありませんし、一方、成功していても苦勞が多く日本に帰りたいという声もあります。

これからは、今までのように大企業に歩調を併せて成長することが難しいので、企業経営をどう維持していくのか、皆で悩みながら、いろいろな

工夫をしています。

また、静岡県では、10年ほど前から地域ごとの資源と特徴ある産業基盤を活かして産業集積を図ってきましたが、その成果は、新たな産業育成に対するひとつの方向になるかもしれません。「静岡新産業集積クラスター」と称し、東部地区では「ファルマバレー」、中部地区では「フーズ・サイエンスヒルズ」、西部地区では「フォトンバレー」の3つの産業集積プロジェクトが推進されています。

○ファルマバレー（東部地区）：

地域と一体化したネットワークで、医療からウェルネスまで、世界トップレベルの研究開発が進められている。

○フーズ・サイエンスヒルズ（中部地区）：

ライフサイエンス系の大学・研究機関と日本有数の食品関連産業群が協働して、健康長寿社会に貢献する新産業が生まれている。

○フォトンバレー（西部地区）：

光技術を核とした次世代産業を創出・育成するプロジェクトで、次の時代の産業社会をリードする新たな世界企業が生まれている。



「静岡新産業集積クラスター」シンボルマーク

こうした産業集積を図ったことにより、例えば自動車の部品をつくっていた企業が医療機器の部品をつくるようになったなどの実績が出始めてきました。現在、県は、いったん集積した成果や培ったノウハウを県全体に広げていこうとしています。こうした流れが静岡県経済に大きな活力を与えて、地域の中小零細企業が再び躍動する扉を、地域の力で開けることができると考えています。

### 3. 産業振興のための商工会議所の方策

#### 新規産業創出、既存産業の底上げの支援

—各地域の商工会議所の特色ある産業振興策をご紹介します。

杉 浜松には製造業を営む企業が多く、現状打開に向けて、新規産業創出や既存産業の底上げの支援に取り組んでいます。三遠南信\*という広域で連携をして、産・学・官で、三遠南信クラスター推進会議、浜松地域新産業創出会議という組織をつくり、宇宙航空技術、医工連携、農商工連携、光技術活用、輸送機器産業戦略という5つのテーマのもと、研究会活動を行っています。

※豊橋市を中心とする愛知県の東三河地方、浜松市を中心とする静岡県の遠州地方、飯田市を中心とする長野県の飯伊地域を指す県境を跨いだ地域の呼称

掛川には株式会社資生堂の掛川工場がありますが、商工会議所と株式会社資生堂が共同で国内初の緑茶の香水を開発しました。「掛川グリーンティーオードパルファム ふじのくに」という商品で、掛川の茶花を使ったさわやかな香りは、男女共に使えるとなかなか人気です。

伊東は温泉で有名ですが、人口1,000人当たりの菓子製造業の許可件数を調べたところ、京都や金沢などを抜いて、全国トップクラスでした。そこで、「伊東お菓子共和国」の建国を宣言しました。現在、加盟48店で、毎月「お菓子の日」と



パッケージの内側に富士山と茶畑をあしらった「掛川グリーンティーオードパルファム ふじのくに」



して月のテーマに合ったお菓子を販売したり、市内の各種イベントに加盟店が出店して、お菓子の販売や「伊東お菓子共和国」の知名度アップに向けてレクリエーションなどを実施しています。加盟店の中にはモンドセレクションで最高金賞を受賞したところもあり、これから大いに全国発信していこうと意気込んでいます。

—温暖な気候に恵まれお茶や果実などの栽培が盛んな静岡県ですが、地元産品農産物などを使った商工会議所の活動をご紹介ください。

杉 富士宮商工会議所は、富士山麓の朝霧高原一帯を黄色く染める「菊芋パワープロジェクト」を実施しています。秋に一斉に黄色い花を咲かせる菊芋の花畑越しに雄大な富士山を臨む絶景スポットをつくり、観光施設と連携して誘客に取り組むものです。さらに、血糖値を下げる効能がある菊芋をパウダーにするなど、菊芋を使った商品も開発中です。

また、富士宮市は「富士宮やきそば学会」が提唱して富士宮のやきそばが有名になった「B級グルメ」発祥の地です。やきそばに限らず、静岡県内はB級グルメがたいへん豊富です。浜松市の「浜松餃子」、袋井市の「たまごふわふわ」—これは江戸時代の食べ物を文献をもとに再現したものです。そして静岡市の「静岡おでん」、同清水区の「もつカレー」、三島市の「みしまコロッケ」など多種多様なB級グルメが楽しめます。

最近では、富士市でテレビ番組「チャンピオンズ」と商店街が協同して「富士つけナポリタン」というご当地グルメを開発しました。これはトマトソースをベースにしたスープに麺をつけて食べるもので、市内約50店で食べられます。今、富士市へ行くと、「一度、つけナポリタンを食べてみようか。」というムードになっています。

また、B級グルメではありませんが、富士市ではしらす店が軒を連ねる「富士山しらす街道」もPRしています。富士市の田子の浦のしらす漁は、二艘で網を張って捕るのではなく、一艘引きです。効率劣りますが、二艘引きのようにしらす重

みでつぶれることはなく、すばやく水揚げして、瞬時に冷水につけるので、鮮度と品質が違います。ここで水揚げされたしらすを食し、しらす本来の味を確認してみてください。



ご当地グルメ  
「富士つけナポリタン」

### 徳川家康で観光を盛り上げたい

—静岡県は、富士山、伊豆半島などの豊富な観光資源を抱えており、旅館営業施設数は全国第一位にあるなど有数の観光県ですが、観光の現況と課題についてお聞かせください。

杉 課題は、静岡県の人々は観光をアピールすることが上手ではないことです。富士山があるし、東海道沿いなので黙っていても人が往来してお金を使ってくれた歴史により発展してきました。それに比べて、山梨県などは、富士山を大いに活用し、何とか観光客を呼び込もうとこれまでずっと一所懸命PRしてきています。私たちが、静岡空港の広報のために北海道や九州、アジアへ行くと「富士山は山梨県ではないのですか？」と聞かれたりします。今まで静岡県は「黙っていても、富士山＝静岡県だろう。」と思いこんでいましたが、これからは本腰を入れて観光PRに取り組まなければならないと思っています。

静岡県の観光資源を掘り起こすという点では、静岡・浜松・岡崎の商工会議所が連携して、徳川家康公没後400年の2015年に合わせて「徳川家康」を改めて世間に売り出そうとしています。家康は、岡崎で生まれ、静岡の今川義元の元の人質として

あずけられて勉学に励み、浜松で出世し、最後は再度静岡に戻って隠居しました。

家康というと、封建制度やタヌキおやじといった必ずしも良いイメージばかりではないのですが、戦国時代を終了させて、人命を尊重し265年にわたる平和をつくった人です。また、戦が終わって鉄砲がいらなくなったので、火薬の新たな使い道として初めて花火をあげたと伝えられています。日本で初めて金属活字による活版印刷を始めたのも家康です。

家康は、世間でよく知られているのとは違う面をたくさん持っています。静岡や岡崎の人も、家康のことを案外知らずにいるのではないのでしょうか。これから、家康のことをもっと勉強しようとしています。2015年の徳川家康公顕彰四百年を迎えるにあたり、静岡県内では記念事業を行っていますが、それを一過性にしないで、観光振興につなげていこうと考えています。また、静岡や浜松以外でも、下田や伊東で採れた石が江戸城の城壁として使われているなど、静岡県内での家康に関するいろいろな事実を商工会議所で掘り起こし、家康で観光を盛り上げようとして取り組み始めています。

#### 一次に、インバウンド誘客の取り組みについてお聞かせください。

杉 静岡空港は、開港後3年を経過したコンパクトな地方空港なのですが、韓国便がデイリーで2便あり、週4便の上海便のほか今年3月に始まったばかりの週3便の台湾便も、もう1便増やしていただいけそうなところまでできました。座席数では国内線が14万1,000席に対して、国際線が14万5,000席と、小さいながらも国際空港なのです。

久能山東照宮から日本平に渡る日本平ロープウェイでは、団体客の国別データをとっていますが、これまで年間約800人程度の台湾人がみえていましたが、台湾便ができてからは、3カ月で約800人の台湾からの観光客が訪れたそうです。小さな数字ではありますが、定期便が飛ぶことによって、間違いなく新たな人がみえるようになりました。

久能山東照宮が国宝になったということもあり、うまくアジアの観光客を取り込もうと動き始めています。

空港近隣では、ビジネスホテルの外国人宿泊者が増えたものの、必ずしも地元の観光客増に繋がっていないため、静岡空港の周辺地域である焼津・藤枝・島田の商工会議所が連携して、観光資源を活用した新たな広域観光ルートを構築しようと活動中です。

東部地区の三島・沼津・熱海・伊東・下田の5商工会議所で組織する「富士山静岡空港利用促進連絡会」は、空港を活用した産業経済の活性化や発展を図るとともに、インバウンド事業に取り組んでいます。2011年に中国重慶市の旅行会社を招聘して、伊豆地区を中心に観光施設や名所をPRした結果、その旅行会社が熱海に200名近くの観光客を送ってくれました。2012年も、中国重慶市、成都市の旅行会社を招聘してPR活動をする予定です。

#### 静岡県の中心市街地活性化の取り組み事例をお聞かせください。

杉 各地の商店街で、今はそこそこ商売していても後継者がいないという問題が出てきています。子供たちが大学に行きサラリーマンになるなど、店を継ぐ人がいなくなってしまう。そのような状況下、静岡商工会議所にある静岡県事業引き継ぎ支援センターによる「創業・事業引き継ぎ支援プロジェクト」が開始されました。まだ1~2件ではありますが、公募により後継者が決まった店ができています。

それから、浜松・袋井・磐田・掛川などで軽トラ市が開催されています。大型ショッピングセンターなどにお客が流れて商店街に生鮮食品を売る店がなくなってしまったため、軽トラックの荷台で野菜を売る市を開催しています。対面販売がいいのでしょうか、とても賑わっているようです。

三島では、商店街は敷居が高いというイメージを取り払うために、「ひやかし歓迎商店街事業」を行っています。入ってみたいけれど入れずにい

たような店を巡るツアーを実施して、少しでも商店街に人を呼び込もうとしています。

また、富士宮では、「まちなかアートギャラリー」という、写真、油絵、水彩などのアートを商店の中に展示するイベントを毎年開催しています。「店の商品を買わなくてもいいので、アートを見に来ててください。」という趣旨で、期間中は街の有名旅館にも気軽に入れます。こうしたイベントで商店街に親近感を持ってもらえるように工夫しています。

企業が減少したら商工会議所にも大きな影響が出ます。商工会議所はこのような取り組みを地道に支援し、商店街が盛り上がるようお手伝いしていきます。

—その他に、各地域の特色ある商工会議所の活動をご紹介します。

杉 掛川は二宮尊徳の報徳精神で有名です。掛川商工会議所では、二宮尊徳の報徳思想をわかりやすく解説した冊子「心のスイッチ」を作成して、それを題材に小中学校・青年部・企業向けに『ほうとく寺子屋』を実施しています。日光、小田原といった二宮尊徳ゆかりの地と連携して、二宮尊徳の生涯や考え方を周知する活動を行っています。「報徳」とは経済と道徳の融和を訴えた思想で、儒教の影響を多く受けており中国の人も興味を持つようです。

磐田では、地域資源全国展開プロジェクトとして、ノーベル化学賞受賞技術により開発した化粧



二宮尊徳の報徳思想をわかりやすく解説した冊子「心のスイッチ」

品を磐田商工会議所ブランド「セラキラル」として全国販売しています。なかなか売れ行きが順調なようです。

また、富士では企業ガイダンスに力を入れており、小・中・高校で職業講話の授業をしたり、大学のインターンシップに協力して「企業経営者の一日かばん持ち」という、社長に学生がついて歩いて勉強するという活動もしています。

## 4. 高速交通網の整備

### 静岡に空港の文化を植え付ける

—次に、静岡空港への支援についてお聞かせください。

杉 静岡空港に関しては、開港前から「近くに羽田やセントレアがあるのに、何で静岡に空港をつくるんだ。」とか、「赤字の地方空港は要らないじゃないか。」という声がありました。

これまでの日本の地方空港は、離島は別として、東京、大阪、名古屋といった大都市への移動時間の短縮を図るための空港でした。よって大都市と結ばない静岡空港は疑問視されがちでしたが、この地方空港は遠方から静岡へ来てもらうための空港だと思います。

静岡空港に、アジアの都市と結ぶ国際線の需要があることがわかっています。来年には、富士山が世界文化遺産に登録される見込みにありますし、久能山東照宮は国宝になり、2015年には徳川家康公没後400年を迎えます。中国や韓国では、家康は意外に人気があります。中国では山岡宗八の「徳川家康」がベストセラーになっていますし、韓国では秀吉を倒して政権をとった人として人気があるようで、おそらく中国や韓国からますます観光客がみえると思われます。

それから、航空文化があるのとないのとは大きな違いがあります。離島でも空港があれば、そこに住む人にとっては飛行機に乗るのは普通のことです。ところが、これまで静岡の人は飛行機に乗ることが特別なことでした。今、若者に、修学



旅行にできるだけ飛行機を使ってもらうように依頼しています。乗ってみれば便利さが分かり、飛行機が特別なものではなく、活動範囲が広がっていきます。

静岡県商工会議所連合会は富士山静岡空港利用促進協議会の事務局を受託していますが、静岡に来てもらうための空港をつくり静岡に航空文化を広げる、そういう仕事の手伝いをしているという意識を持ってしています。

また、空港ができたことで時間距離が近くなった地域との産業交流が始まっています。例えば、静岡県は付加価値を高めるのが得意です。そこで、「静岡の製造業の力を大いに使ってくださいよ。」と空港で結ばれた地域に静岡の加工技術をPRし、新しいものづくりのお手伝いにつながればと思っています。

そのうちの一つに、十勝の牛乳と静岡のお茶をコラボさせた「抹茶オーレH&S」という新しい商品が、十勝圏振興機構と静岡県産業振興財団により開発されました。十勝産のビートから取れる機能性成分「ベタイン」を使うことで、茶の渋みが和らいで、まろやかな味だと好評です。

また、鹿児島と静岡の間で水産加工業者が行き来を始めました。鹿児島の枕崎、静岡の焼津はどちらもカツオ、カツオブシが名産です。臭いをどうしようとか、捨ててしまう臓物を利用できないかなど共通の悩みを抱えているなかで、大学も巻

き込んで対策を考えていけるのではないかと思います。

—新東名高速道路の御殿場JCTから三ヶ日JCTまでの約162kmが今春開通しましたが、その影響についてお聞かせください。

杉 新東名と東名がダブルネットワークになったことで、渋滞が緩和されて、定時制が確保されるようになりました。一番ありがたいのは、災害時の回避路線ができたことです。東名の薩埵峠付近は、台風の発生や津波警報が発せられると直ぐに閉鎖され、周辺が大変な渋滞を起こしていました。新東名のおかげで、こうした災害時の回避路線ができて日本の大動脈の寸断が回避されるようになったことは、日本経済にとっても大きな意義があります。

走ってみるとよくわかりますが、新東名はとても快適な道路です。東名では5%だった最大勾配率が、新東名では2%になっています。これは、100m走って5m上がる角度が、100m走って2mになったということです。また、カーブの最小半径は300mが3kmになっていますから、カーブの感じが緩やかです。それから、トンネル内はプロビーム照明という進行方向を照らす照明なので、前方の車がとても見やすく快適にトンネル内を走ることができます。

新東名（静岡県）インパクト調整会議が開通後



御殿場JCT～三ヶ日JCT間の約162kmが開通（提供：中日本高速道路株式会社）



3カ月間の結果を発表していますが、静岡県内の10km以上の渋滞は5回しか起きなかった、交通事故が減少した、新東名の大型車の平均移動距離は約270km、東名は約180kmから120kmになり移動距離の長い通過交通が新東名に転換したなどの効果があったようです。

### リニア中央新幹線開通への期待

ーリニア中央新幹線が開通すると、現在の東海道新幹線の役割が変わってくるでしょうが、静岡県としてはどのようにお考えでしょうか。

杉 東海道新幹線の「のぞみ」は静岡には止まりません。「ひかり」は1時間に1本位しかないので、乗り損なうと次は1時間後になってしまいます。

東京、名古屋、大阪、京都間をより早く移動する「のぞみ」の機能は、将来、リニア中央新幹線が担います。すると、東海道新幹線をどう活用するかが課題となり、静岡県での利便性向上が重要になってきます。私たちの希望は、現在はかなえられずにいる東海道新幹線の静岡空港新駅ができることです。

今まで、新幹線が通ると飛行機に乗る人が減ってしまうというように、新幹線と飛行機は相対するものでした。もし、静岡空港新駅ができれば、新幹線と飛行機が直結されます。飛行機で静岡へ来て新幹線で富士山を見ながら東京へ行くとか、あるいは大阪、名古屋から新幹線で静岡空港にやってきて、富士山を見て飛び立つとか、新幹線と飛行機のWin-Winの関係ができると思っています。

たくさんの方が新幹線を使って、静岡空港で乗り降りするようになれば、JRにとっても静岡県にとっても喜ばしいことです。リニア中央新幹線の開通に併せ、静岡空港新駅が出来ることに大きな期待を寄せています。

ー東海地震に対する備えなど防災対策が進む静岡県ですが、商工会議所連合会としての活動をご紹介します。

杉 静岡県商工会議所連合会では2005年度から企業のBCP\*策定の重要性について周知に努めてきました。

※Business Continuity Planの略。事業継続計画。災害や事故などの予期せぬ出来事の発生により、限られた経営資源で最低限の事業活動を継続、ないし目標復旧時間以内に再開できるようにするために、事前に策定される行動計画。

これまでに、各商工会議所でBCP策定に向けた講習開催を続けており、大手企業は対応を始めていましたが、中小・零細企業の反応は今ひとつでした。

しかし、昨年の「3.11」（2011年3月11日）に起きた東日本大震災以降、特に、焼津や伊豆など津波が心配される地域の企業でのBCPへの関心が非常に高まっています。この機を逃さずに、他の経済団体とともにBCP策定を普及させるための支援をしていきます。

一方、商工会議所自身でBCPを備えることも重要です。静岡県商工会議所連合会が所属する関東商工会議所連合会に各県商工会議所連合会の専務理事が集まって、BCPマニュアルの改訂版が作成されました。以前作成したものに、津波への対応なども入れ込んだものです。この改訂版を基に、全商工会議所でBCPマニュアルを作りましょうと勧めています。

また、災害に遭ったときに商店街が果たす役割も、今回の東日本大震災でわかってきました。私たちが役立つ仕事はまだまだあると思っています。

商工会議所ほど地域のためにいろいろなことができる団体は他にない

ー今後の課題や抱負についてお聞かせください。

杉 日本経済は、これまでずっと成長を追い求めてきましたが、これからは安定の時代だと思います。量や大きさ、資産を得ることを求めた時代から、質や心の豊かさを求める時代になってきました。

環境、医療、健康、エネルギー対策などの新たな産業に取り組むことも重要ですが、輸送機器のようにロットのある産業ではありません。皆で一

齊に同じ産業に取りかかるのではなく、小さくても、それぞれ利益の出るところを探していくことになるでしょう。時代に応じて変わってくるニーズに対して、何かしらお手伝いができればと思っています。

また、商店街の将来が心配です。商店主の方々は、粋という言葉に表されるように、祭りの維持のためにお金を出したり、祭りの実行委員会を引き受けたりしています。こういう方たちがいなくなれば、町が寂れてしまうだけでなく、地域の祭りや文化が失われてしまいます。

雇用に関しても、企業への就職は先ほどのようなミスマッチがありますし、高齢者や障がい者の雇用を増やせば、それだけ若者の働き口が減るかもしれません。そのバランスをどうとるのが問題です。また、これからは女性が大いに活躍する会社が伸びていくだろうと思われませんが、そのためには結婚・出産・育児を経ても、正規社員として能力を活用できる仕組みができてこなければいけません。言うは易く、なかなか実行できない企業が多い状況がありますが、重要性を理解してもらい、実現させていくことが必要です。

商工会議所は、経済団体としてこうした課題に何ができるかを考えています。まず、商工会議所が地域に役立つ存在であるということを地域の方々にもっとよく知ってもらいたいと思っています。地域のために、これほどいろいろなことができる団体は他にはありません。実績をあげてパブリシティを大いに活用することで、認知度を上げていきたいと考えています。

また、産学官の連携は経済界が得意とするところですが、雇用のミスマッチにしても、大学、経済団体が連携して問題を解決していかなければなりません。さきほどの「お母さんの反対で中小企業に就職しない。」が問題なんて笑ってしまいますが、実は本当の話なのです。また、現役の社長さんたちによる学生へのキャリア教育も、雇用のミスマッチ解消に大変有効だと思っています。

経営指導員の資質向上も商工会議所の永続的テーマです。経営の相談を銀行員に伺う企業は多いの

ですが、中小零細企業の中で、昔で言う国民金融公庫を利用する人たちは、銀行へ直接相談に行くことが少ないので、そういう経営者たちの役に立つ存在になりたいです。

特に、来年の3月には、「中小企業金融円滑化法」の期限が到来します。ここで急に中小企業が困惑することがないように、商工会議所は活躍しなければいけません。経営指導員には、中小零細企業のいろいろな相談に応じて、お手伝いするなかでノウハウを身につけてもらっています。併せて金融機関や中小企業再生支援協議会、事業引き継ぎセンター、その他の専門家による講習会の充実に努めております。

その他、これまで「観光は観光協会の仕事」という意識がどこかにありましたが、商工会議所にとっても「観光」は大事な仕事であり、これからはもっと観光振興に関わっていかなければいけないと思っています。

「着地型観光」の重要性が言われて久しいです。これは「発地型観光」と対照になる言葉で、発地型観光が、出発地側の視点で企画する従来のようなパック旅行であるのに対して、着地型観光は、静岡に来る人に、地域の人たちが「ここがお勧めです。」と提案していく観光です。なかなか商売にはなりにくいのですが、何とか形にしていきたいと思っています。

例えば、観光客から商工会議所に問い合わせがあった場合に備えて、どこがお勧めかといった資料などを用意しておくことが必要です。今まで、行政や商工会議所は特定の店の名前を出さなかったのですが、これからは言ったほうがいいと思っています。実際、静岡県は、県産の食材を積極的に活用して、県の農林水産業や食文化に貢献している料理人や菓子職人を表彰しており、その人たちのお店の情報を掲載した本が販売されています。これは、これからの時代の観光振興策の一つの形でしょう。

—静岡県から見て、中部圏とはどのような圏域なのでしょう。

静岡県は、経済は関東圏に区分されていて、商工会議所の集まりでも関東の人たちは静岡県をとっても大事にしてくれます。一方インフラ整備では中部圏に区分されていますが、愛知県、三重県、岐阜県の東海3県とは少し立ち位置が異なります。また、製造業というくくりで見ると、愛知、静岡で一緒になって日本を支えてきたという自負があります。TOYOTAグループの創業者、豊田佐吉氏も現在の湖西市の生まれです。

防災という観点では、東海・東南海・南海地震では東海3県と同時に被害を受けるであろうと想定されます。お互いに繋がりを持って乗り越えてなくてはいけないので、情報の共有、対策の連携

は大切だと思っています。

浜松、磐田など静岡県の西部地区は、中部圏に親しみを持っています。野球も中日ドラゴンズファンが多いです。しかし、東部地区、中部地区は基本的に首都圏を見ています。静岡県は、中部圏といっても中部圏の東の外れというか、「東海3県+1」のような感覚があるのが、正直なところかもしれません。

### 数字で見る静岡県の姿

県庁所在地：静岡市 人口721,996人 (2012年10月末現在)

面	積	7,780 (km <sup>2</sup> )	2010年								
市	町	村	数	35 (市町村)	2012年4月						
総	人	口		3,761 (千人)	2010年度						
総	世	帯	数	1,452 (千世帯)	2010年度						
人	口	密	度	484 (人/km <sup>2</sup> )	2010年						
就	業	者	数	1,991 (千人)	2005年						
外	国	人	登	録	者	数	86,158 (人)	2010年			
者 産 業 別 就 業 者 数 構 成 比	第	1	次	産	業	4.9 (%)	2005年				
	第	2	次	産	業	34.5 (%)	2005年				
	第	3	次	産	業	59.6 (%)	2005年				
県	内	総	生	産		16,453 (10億円)	2008年度				
一	人	当	た	り	県	民	所	得	3,215 (千円/人)	2008年度	
事	業	所	数			203 (千事業所)	2009年				
鋳	工	業	生	産	指	数	82.2 (05年=100)	2010年			
消	費	者	物	価	指	数	100.0 (05年=100)	2010年			
農	業	産	出	額		209 (10億円)	2009年				
製	造	品	出	荷	額	15,051 (10億円)	2009年				
卸	売	業	年	間	販	売	額	6,976 (10億円)	2007年		
小	売	業	年	間	販	売	額	4,078 (10億円)	2007年		
情	報	サ	ー	ビ	ス	業	売	上	高	142 (10億円)	2009年
大	学	等	進	学	率		54.3 (%)	2010年			
乗	用	車	保	有	台	数	37 (台/百人)	2009年度			